

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度 技術情報第5号（普通期水稻のトビイロウンカ）について（送付）

トビイロウンカの今後の防除対策について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成24年度 技術情報第5号

- 1 対象病害虫 トビイロウンカ
- 2 対象作物 普通期水稻
- 3 飛来及び発生状況等

本年7月12日付け技術情報第4号において、海外飛来性害虫の発生経過予測等について防除情報の提供を行った。その後、7月12日にトビイロウンカの多飛来が認められた。

- (1) 7月12日に農業開発総合センター内の予察灯において、103頭の誘殺を認めた。（表1）
- (2) 7月13～19日に行った巡回調査での発生ほ場率は36%（平年10%）と平年に比べ高かった。（表2）
- (3) 7月12日の農業開発総合センター内の予察ほ場（無防除）調査では、1株当たり成虫数が0.04頭であった。

4 防除対策等

- (1) 7月12日飛来のトビイロウンカの今後の発生経過予測図は別紙のとおりであり、飛来第1世代の防除適期は、7月第6半旬～8月第1半旬頃と予想される。
- (2) トビイロウンカは増殖率が年間1,000～1,500倍と非常に高く、8月下旬以降には高密度となり坪枯れ被害を生じる。近年では、平成17年や21年に発生が多くみられている。ほ場内の分布にはムラがあるので、ほ場全体の発生状況を確認する。
- (3) 稲の株元に生息するので、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布する。
- (4) 農薬の使用基準を遵守し、薬剤散布は飛散に十分注意する。

表2 巡回調査でのトビイロウンカの発生状況 調査日：7月13～19日

地域名	調査ほ場数	発生ほ場率(%)				
		平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平年
南 薩	10	20	0	30	20	15
北薩平坦	24	38	4	4	58	10
北薩山間	22	18	0	23	45	11
大 隅	6	67	0	33	33	8
県 計	62	36	2	17	47	10

平年値は2002年～2011年までの平均

巡回調査地点

南 薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目

日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，蒲生町楠田，姶良町三拾町

霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎・高江

出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田

薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手

伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

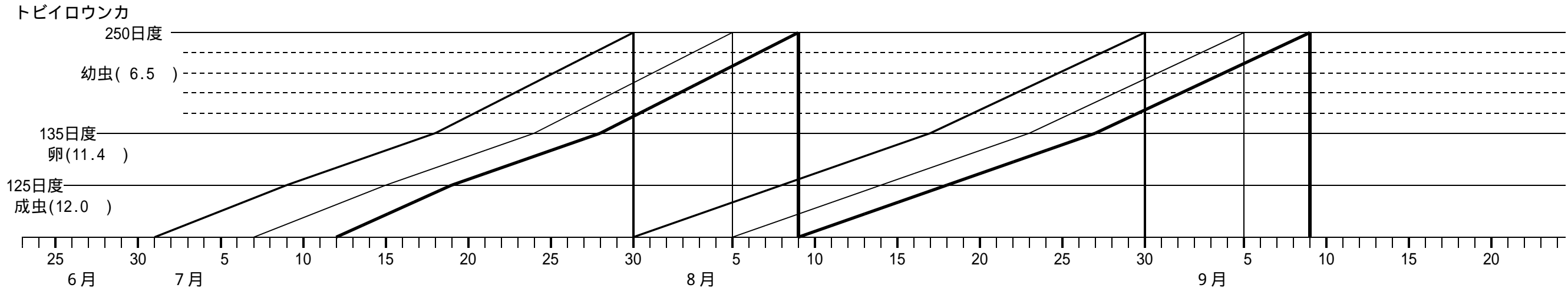
大 隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里

(別紙)

トビイロウンカの有効積算温度による発生経過予測図 (アダステータ:加世田を使用)

2012年 7月19日 作成

鹿児島県病害虫防除所



(注) 気温の低い地域では予測より遅くなる。